

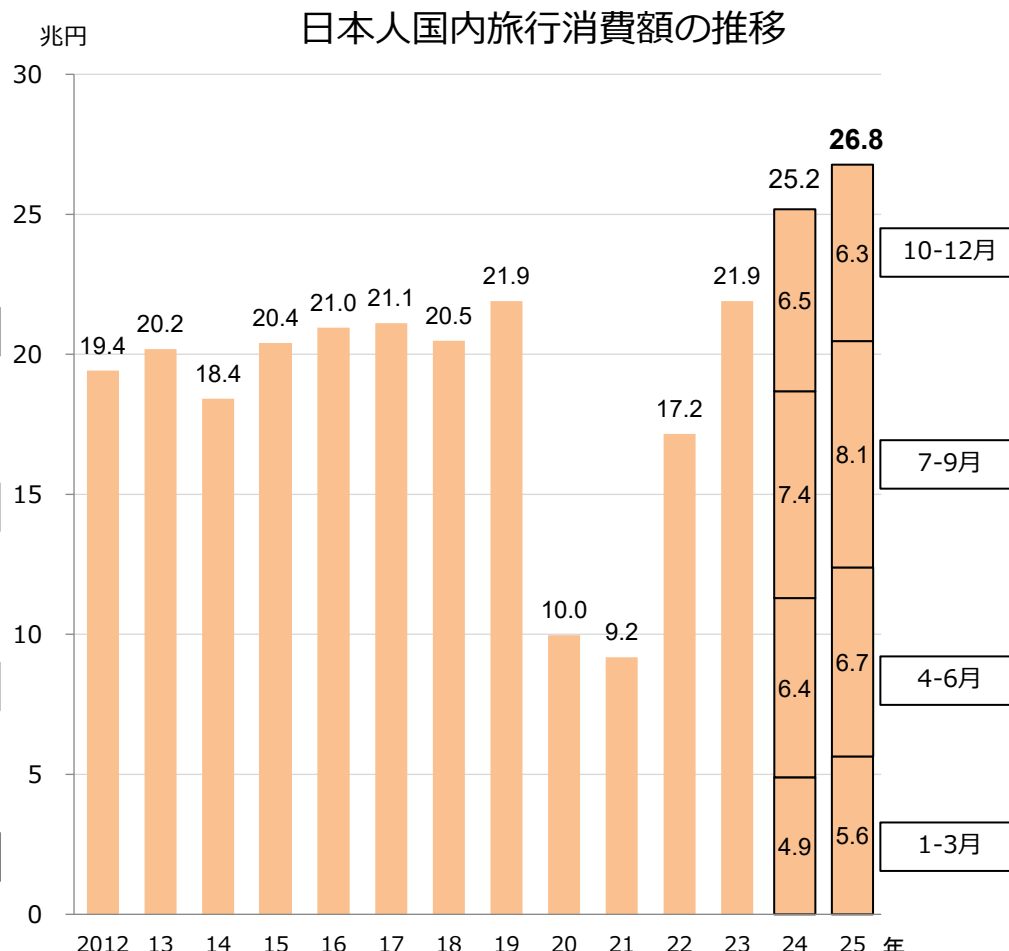
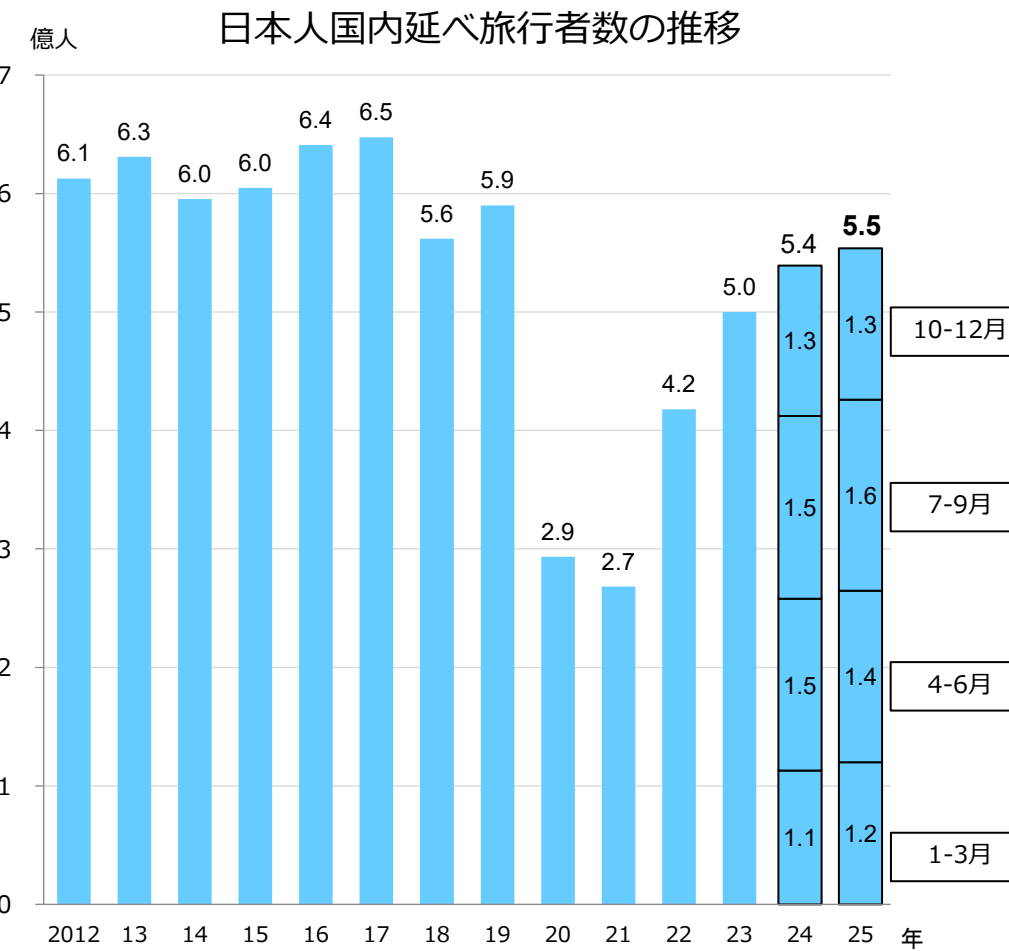
# 観光の現状等について

---

令和8年4月  
観光庁

# 国内旅行の状況

<p>2025年暦年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 延べ旅行者数：5.5億人（前年比2.5%増）</li> <li>○ 旅行消費額：26.8兆円（前年比6.4%増）</li> </ul> <p>※一人当たりの旅行支出（旅行単価）：約4.8万円（前年比3.8%増）</p>	<p>2025年10-12月期</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 延べ旅行者数：1.3億人（前年同期比0.1%減）</li> <li>○ 旅行消費額：6.3兆円（前年同期比2.6%減）</li> </ul> <p>※一人当たりの旅行支出（旅行単価）：約4.9万円（前年同期比2.5%減）</p>
---	---

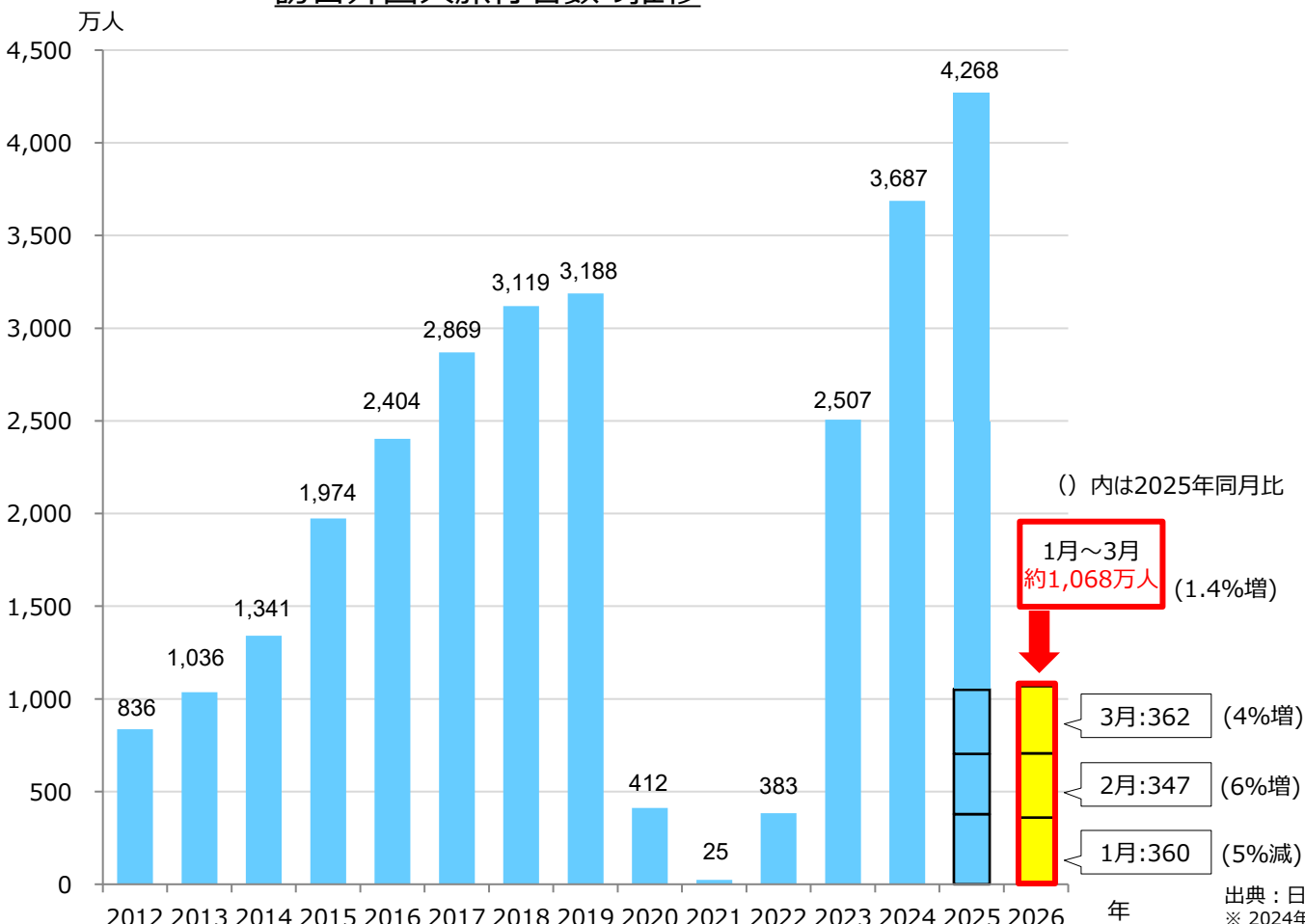


出典：観光庁「旅行・観光消費動向調査」※2025年は速報値

# インバウンドの状況（旅行者数）

- 2026年3月の訪日外国人旅行者数は、約362万人（2025年同月比3.5%増（約12万人増））となり、3月として過去最高となった。
- 23の国・地域のうち20の国・地域が3月として過去最高を記録し、その中で7の国・地域（※）が単月として過去最高を記録した。  
※インドネシア、ベトナム、米国、カナダ、英国、ドイツ、北欧地域。
- 中国からの訪日者数は約29万人（同55.9%減（約37万人減））となった。中東地域からは約1.7万人（同30.6%減（約0.7万人減））となった。
- 2026年1月～3月の総数は約1,068万人（2025年同期比1.4%増（約15万人増））となった。

訪日外国人旅行者数の推移

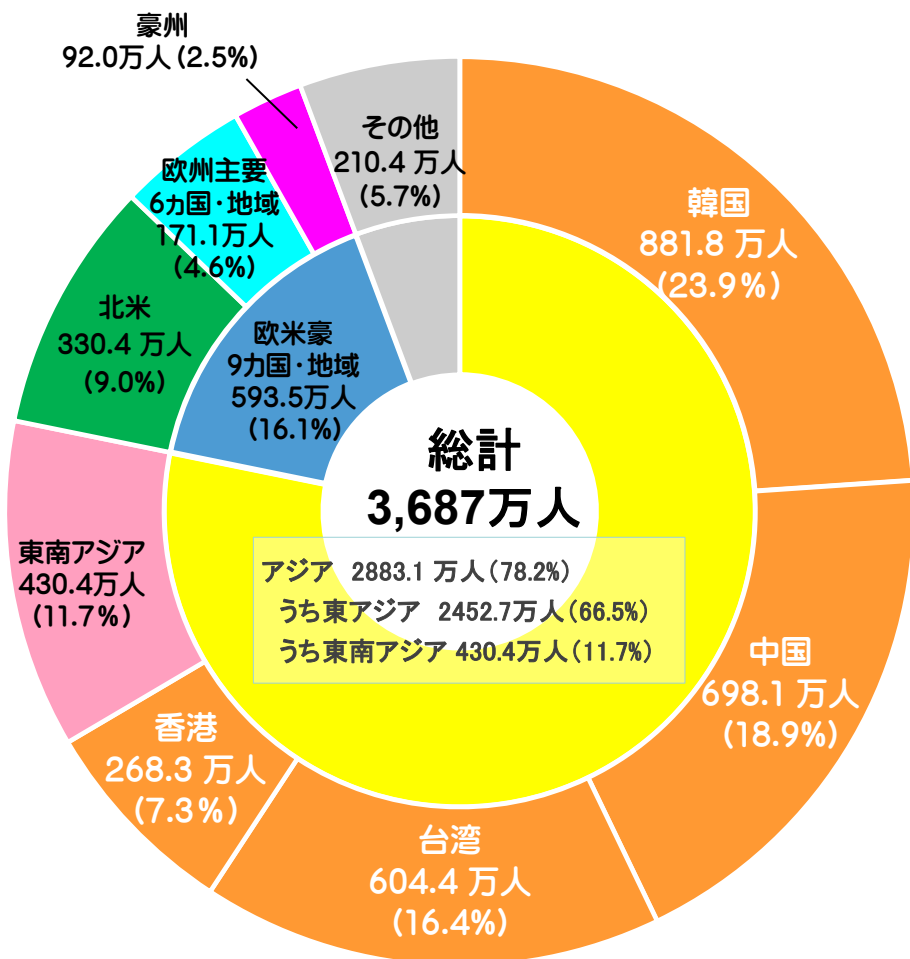


国・地域別訪日者数上位

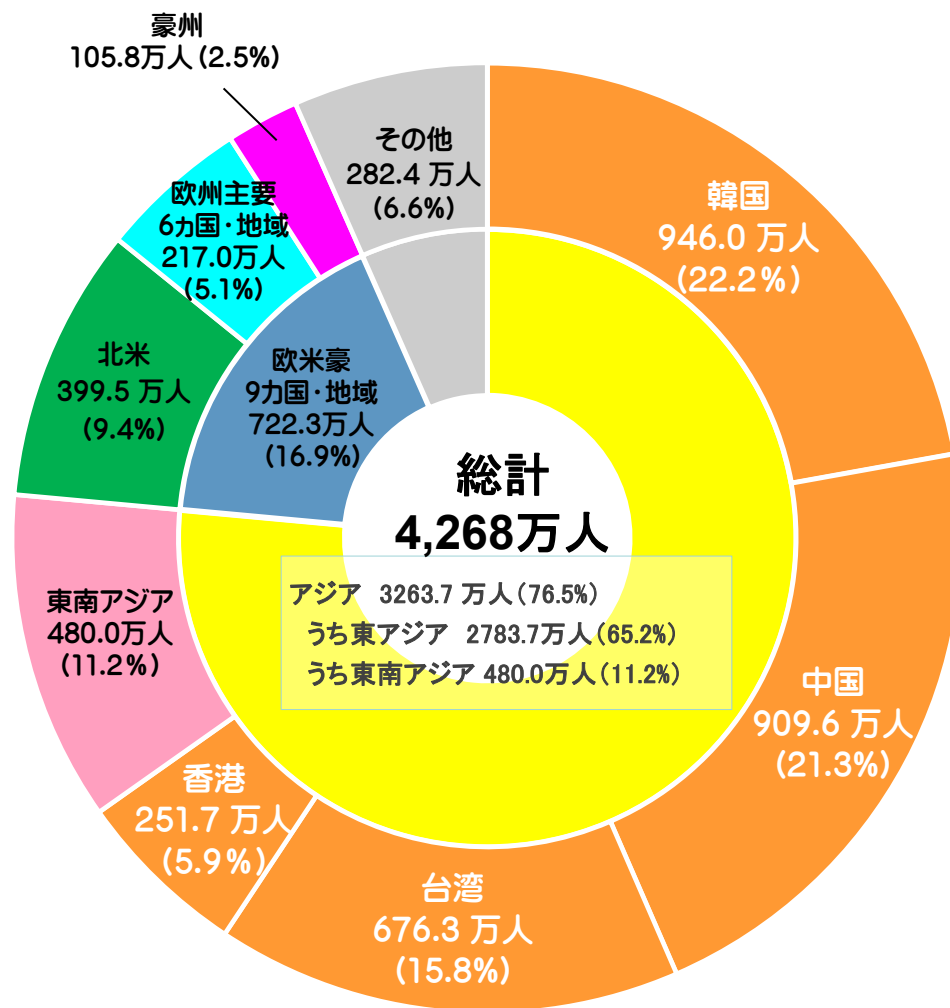
国・地域	2026年3月 (2025年同月比)
①韓国	80万人 (15%増)
②台湾	65万人 (25%増)
③米国	38万人 (10%増)
④中国	29万人 (60%減)
⑤香港	22万人 (4%増)

出典：日本政府観光局（JNTO）  
 ※ 2024年以前は確定値、2025年、2026年1月の値は暫定値、2026年2、3月の値は推計値

## 【2024年確定値】



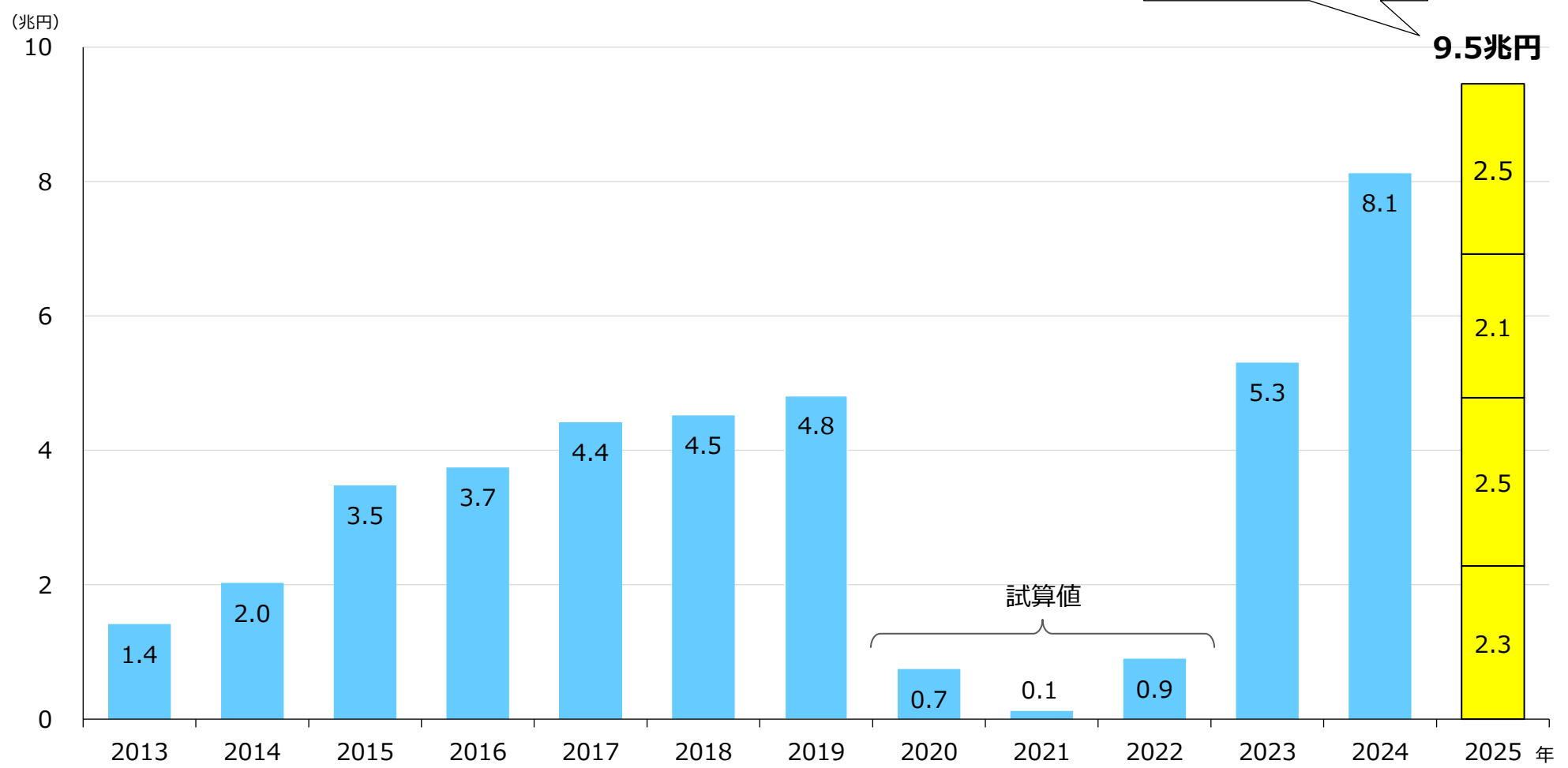
## 【2025年推計値】



※ ( )内は、訪日外国人旅行者数全体に対するシェア  
 ※ その他には、アジア、欧州等各地域の国であっても記載のない国・地域が含まれる。  
 ※ 数値は、それぞれ四捨五入によっているため、端数において合計とは合致しない場合がある。  
 ※ 日本政府観光局 (JNTO) 資料より観光庁作成

- 2025年暦年：消費額 約9.5兆円（前年比16.4%増）  
：一人当たりの旅行支出 22.9万円（前年比0.9%増）
- 2025年10-12月期：消費額 約2.5兆円（前年同期比10.3%増）

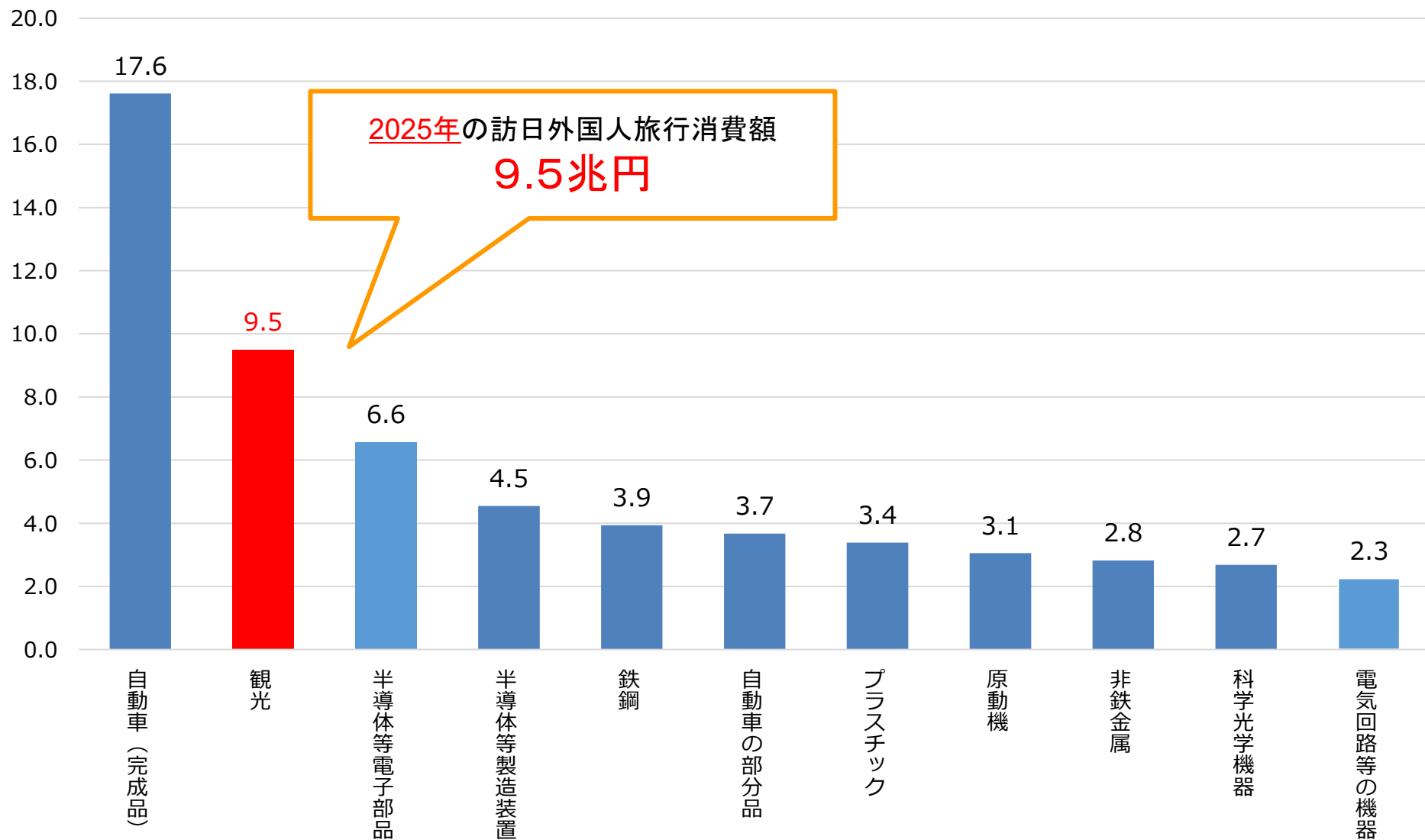
### 訪日外国人旅行者による消費額の推移



出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査」及び「インバウンド消費動向調査」 2025年は速報値

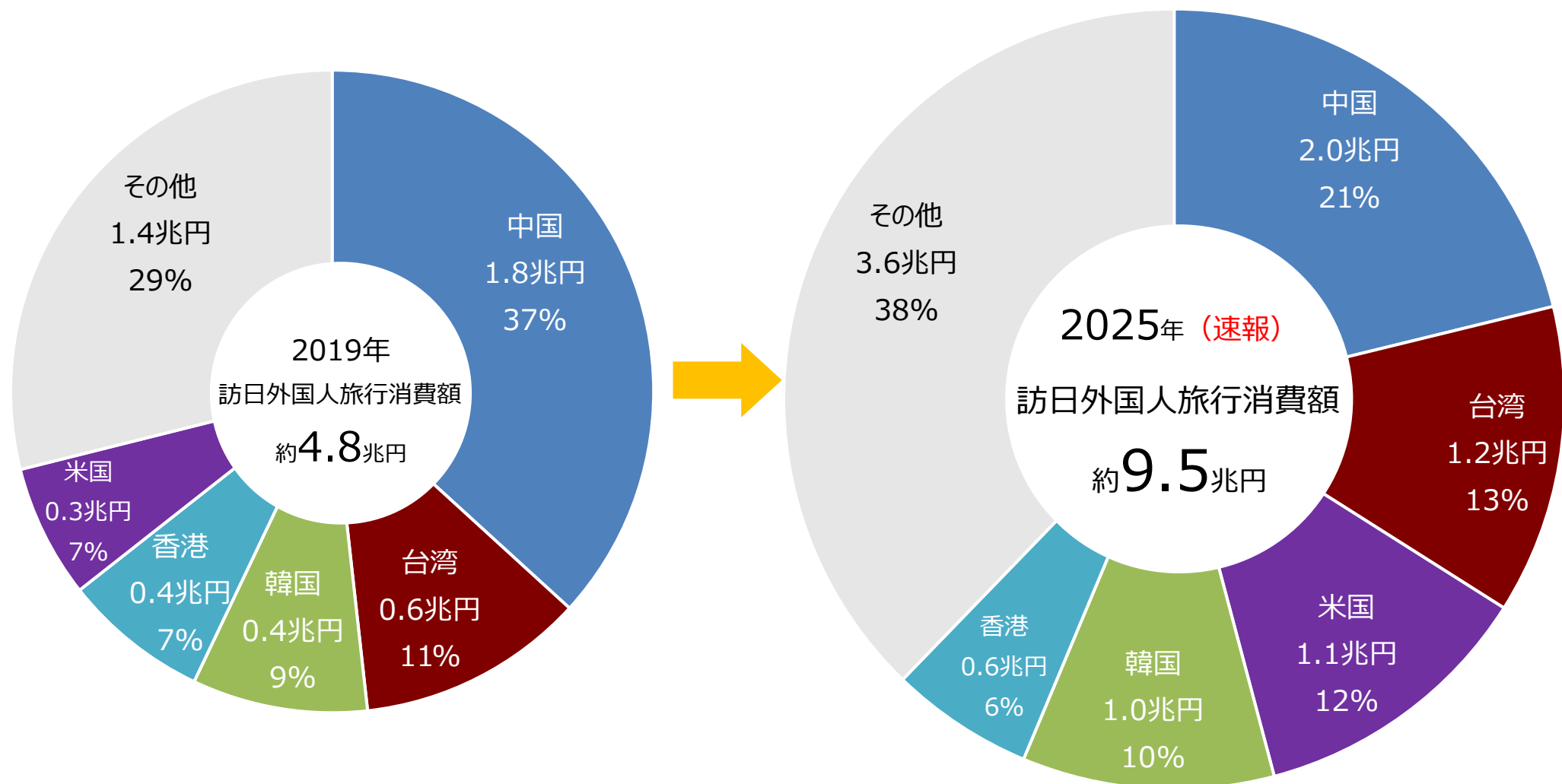
# 製品別輸出額との比較

(単位：兆円)



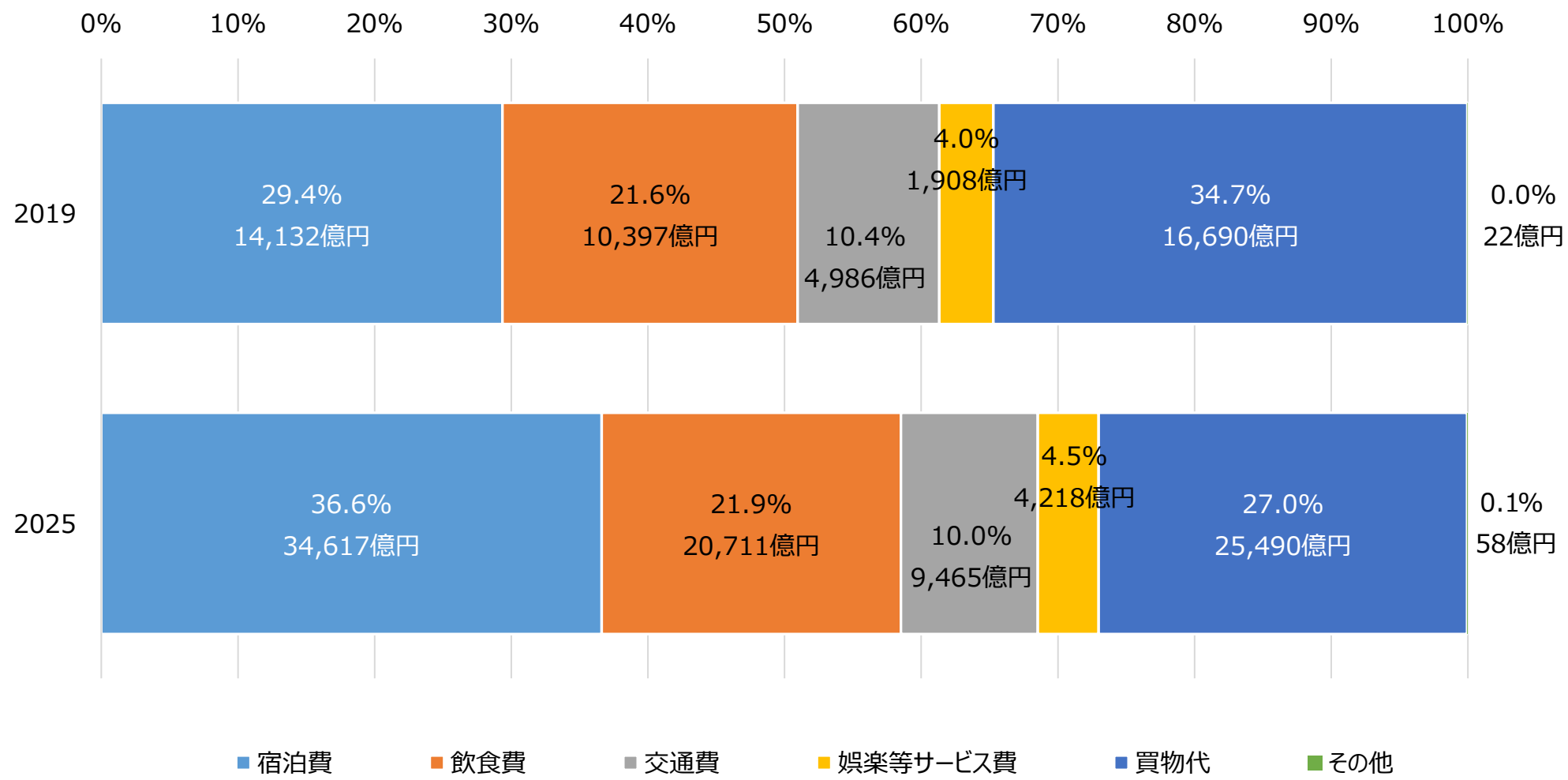
資料：観光庁「インバウンド消費動向調査(旧訪日外国人消費動向調査)」、財務省「貿易統計」に基づき観光庁作成(いずれも速報値)

## 国籍・地域別 訪日外国人旅行消費額(2019年、2025年)



# 費目別にみる訪日外国人旅行消費額

- 2025年の構成比は、宿泊費（4割）、買物代（3割）、飲食費（2割）の順に多い。
- 前年と比較すると、買物代の割合は減少、宿泊費・飲食費の割合は増加。



出典：「訪日外国人消費動向調査」及び「インバウンド消費動向調査」

# 観光立国推進基本計画（第5次）（概要）

## 課題・方向性

- 観光は、訪日外国人旅行消費額は9.5兆円（2025年速報）、そしてその経済波及効果は約19兆円に及ぶなど、地域経済や日本経済の発展をリードする戦略産業※である。また、国際相互理解の促進など、多面的に重要な意義を有する。  
※訪日外国人旅行消費額15兆円を達成した場合、経済波及効果は約30兆円規模と、幅広い産業に裨益することが見込まれる。
- 他方、観光を巡り顕在化している課題として、混雑・マナー違反等の個別課題への対応、特定の都市・地域への集中是正など、オーバーツーリズムの未然防止・抑制に向けた対策の強化が不可欠。加えて、深刻な人材不足への対応、観光の高付加価値化、国内交流の拡大、災害や国際情勢等の様々なリスクに対する強靱性の確保などの課題への対応が不可欠。
- そのため、「観光の持続的な発展」、「消費額拡大」、「地方誘客促進」、「観光と交通・まちづくりとの連携強化」、「新技術の活用・本格展開」を施策の方向性として位置づけ、地域住民と観光客双方の満足度を向上させ、交流人口・関係人口を拡大するとともに、「住んでよし」「訪れてよし」に加え、「働いてよし」の観光産業の実現を推進するための施策を強力に推進。

## 施策の柱

計画期間：  
令和8～12年度  
(2026～2030年度)

### インバウンドの戦略的な誘客と 住民生活の質の確保との両立

- ・ 局所的・地域的に生じている混雑・マナー違反等の個別課題への対応（民泊関係含む）
- ・ 地方誘客を進めるための広域的な体制の整備
- ・ 地方誘客及び消費拡大に効果の高い観光コンテンツの充実
- ・ 地方部への交通ネットワークの機能強化

### 国内交流・アウトバウンド拡大

- ・ 休暇の分散・旅行需要の平準化
- ・ 関係人口の創出や二地域居住の促進
- ・ 国内・海外旅行の需要喚起に向けた機運醸成
- ・ 観光復興に向けた再生支援

### 観光地・観光産業の強靱化

- ・ 持続可能性を高めるためのインバウンド市場・観光コンテンツの多様化
- ・ 観光DX、省力化投資等による生産性向上
- ・ 健全な競争環境の整備
- ・ ユニバーサルツーリズムなど多様なニーズへの対応

目指すべき  
2030年の姿

戦略産業として、日本の魅力・活力を次世代にも持続的に継承・発展させていく観光

# 主な施策一覧①

## 1. インバウンドの戦略的な誘客と住民生活の質の確保との両立

### (1) 混雑・マナー違反等の個別課題への対応

- 過度の混雑対策
  - ・ 生活道路の渋滞対策・パークアンドライド駐車場の整備
  - ・ 手ぶら観光の推進
  - ・ 地域における入域管理や予約制の導入
  - ・ 文化財等の早朝・夜間体験等の促進
- マナー違反对策
  - ・ ルール周知の徹底
  - ・ スマートごみ箱の設置等
- その他のインバウンドの増加に伴う対応
  - ・ 各種民泊の適切な運営確保
  - ・ 外国人患者受入体制の充実及び医療費不払いの防止
- 地域一体となった持続可能な観光地域づくりの推進
- 出入国に関する措置等の受入体制の確保
  - ・ 円滑かつ適正な出入国及び通関等の環境整備等

### (2) 地方誘客の推進による需要分散

- 地方の観光地の魅力向上・地方誘客
  - ・ 世界に誇る観光地形成に向けた観光地域づくり法人（DMO）の形成
  - ・ 地方誘客、地域周遊・長期滞在を促進するための中長期的な戦略に基づく取組の推進
  - ・ 戦略的な訪日プロモーションの実施
  - 〔 様々な国・地域への戦略的な訪日プロモーションの実施 〕
  - 〔 リピーター層の再訪日意欲喚起 〕
  - ・ 大規模イベント（GREEN×EXPO 2027）を活用した情報発信
  - ・ 各分野と連携した情報発信
- 地方部への交通ネットワークの機能強化
  - ・ 空港機能の抜本的強化等
  - ・ クルーズの持続的な成長に向けた取組
  - ・ 空港等へのアクセス向上
  - ・ 「観光の足」確保に向けた「交通空白」の解消と地域交通の  
リ・デザインの全面展開
  - ・ 地域交通DXの推進
  - ・ 幹線鉄道ネットワークの整備推進
- 地方誘客及び消費拡大に効果の高い観光コンテンツの充実
  - ・ ハード・ソフト両面での地域の観光資源の磨き上げ
  - ・ 歴史的資源を活用した観光まちづくりの推進
  - ・ 文化資源の観光活用（博物館・美術館等の文化施設の充実等）
  - ・ 自然資源の観光活用
  - 〔 アドベンチャーツーリズムの推進、農泊の推進を通じた滞在型  
農山漁村の確立・発展 〕
  - ・ 食の観光活用（ガストロノミーツーリズムの推進）
  - ・ スポーツの観光活用
  - 〔 スポーツツーリズム・サイクルツーリズムの推進 〕
  - 〔 国際競争力の高いスノーリゾートの形成 〕
  - ・ 迎賓館・皇居三の丸尚蔵館等の公的施設の公開・開放
  - ・ その他の観光資源の活用
  - 〔 ローカル鉄道の魅力向上による地方誘客推進 〕
  - 〔 消費税免税店の拡大等によるショッピングツーリズムの推進 〕
- MICE誘致・開催、IR整備の推進
- ストレスフリーな観光の推進（キャッシュレス環境等の改善等）
- 国際相互交流の促進

# 主な施策一覧②

## 2. 国内交流・アウトバウンド拡大

### (1) 国内旅行需要の平準化の促進

- ラーケーション※等の促進
- 休暇を取得しやすい職場環境の整備

### (2) 新たな交流市場の開拓

- ワーケーションの推進等を通じた関係人口の創出
- 関係人口の創出や二地域居住の促進
- ユニバーサルツーリズムの推進

### (3) 国内交流の活性化

### (4) 観光復興に向けた再生支援

- 東日本大震災からの観光復興
- 能登地域の観光復興に向けた取組

### (5) アウトバウンドの促進

- 海外教育旅行を通じた若者のアウトバウンドの促進
- ワーキング・ホリデー制度の導入促進
- 日中韓三国間の観光交流と協力の強化
- 二国間の観光交流の取組の推進
- 姉妹・友好都市提携等の活用
- 地方空港を活用した相互交流の促進
- 日本人海外旅行者等の安全対策
- 旅券（パスポート）を取得しやすい環境の整備

※「ラーニング(learning)」(学習)と「バケーション(vacation)」(休暇)を組み合わせた造語。  
愛知県等の一部の地方公共団体では、子どもが保護者と平日に校外学習を行う場合に学校を欠席扱いしないことにより休暇の分散化を進めている。

## 3. 観光地・観光産業の強靱化

### (1) 観光地の強靱化

- 良好な景観の形成
- 庭園・公園等を活用した花や緑豊かな都市・地域の魅力発信（首里城の復元、ガーデンツーリズムの推進等）
- 観光振興等に資する地域づくり・街並み整備
- 景観等に配慮した道路整備の推進（無電柱化の推進等）
- 文化拠点等の整備

### (2) インバウンド市場・観光コンテンツの多様化

- 戦略的な訪日プロモーションの実施  
（様々な国・地域への戦略的な訪日プロモーションの実施）
- 地方誘客及び消費拡大に効果の高い観光コンテンツの充実

### (3) 観光DX・地域交通DXの推進

- 観光DXの推進
- 地域交通DXの推進
- 観光に関する統計等の整備・利活用の推進

### (4) 観光産業の経営力強靱化

- 宿泊施設の整備促進
- 廃屋撤去・再生による地方温泉地等のまちづくり支援

### (5) 健全な競争環境の整備

### (6) 観光人材の確保

- 観光地・観光産業の担い手の確保
- 通訳ガイドの質の向上
- 持続的なローカルガイドの確保

### (7) 多様なニーズに対応した受入環境整備

- ユニバーサルツーリズムの推進

### (8) 休暇の分散・旅行需要の平準化

### (9) 災害・感染症危機・テロ対策等安全・安心な滞在環境の実現

- 訪日外国人旅行者等の災害被害軽減
- クマに関する注意喚起や出没情報等に関する多言語発信

## 第3 観光立国の実現に関し、政府が総合的かつ計画的に講ずべき施策

### 1. インバウンドの戦略的な誘客と住民生活の質の確保との両立

#### (1) 混雑・マナー違反等の個別課題への対応

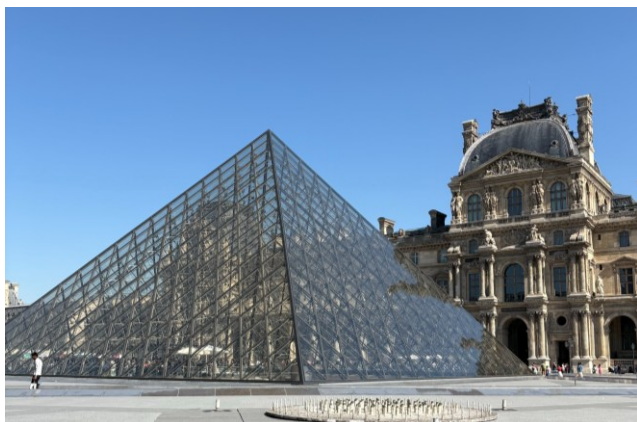
##### ① 過度の混雑対策

#### Ⅲ 需要に応じた入域管理や予約制の導入

##### ア 地域における入域管理や予約制の導入

観光地や観光施設等における過度の混雑を抑制するため、需要に応じて地域が行う入域管理や予約制の導入等の取組を推進する。また、**持続可能な観光の実現を図るため、国内外の事例も踏まえつつ、公的施設等の料金等の設定に関するガイドラインの策定を検討する。**

## 【美術館】（フランス・ルーブル美術館）



### 【経緯】

2025年10月の宝飾品強盗事件により、**老朽化が露呈した改修費用を賄う必要**が生じた。

### 【料金の変化 ※大人（18歳以上）の入館料金】 （従前）

22ユーロ

（改定後）

EEA居住者…22ユーロ（据置き）

EEA居住者以外…32ユーロ（**引上げ**）

### 【使途】

老朽化が進む建物の大規模改修等

### 【導入時期】

2026年1月14日～

## 【国立公園】（アメリカ・11の国立公園※）



※アーカディア国立公園、ブライスカanyon国立公園、エバークレース国立公園、グレイシャー国立公園、グランドキャニオン国立公園（写真）、グランドティトン国立公園、ロッキーマウンテン国立公園、セコイア・キングスカanyon国立公園、イエローストーン国立公園、ヨセミテ国立公園、ザイオン国立公園

### 【経緯】

外国人観光客に対し、**公園の維持管理のための公平な負担を求める**ため、トランプ米大統領が2025年7月、値上げを指示する大統領令に署名。

### 【料金の変化】

**通常の入園料に加えて**、外国人観光客から1人あたり**100ドル追加徴収**。

### 【使途】

国立公園の維持管理、施設の改修、サービス向上

### 【導入時期】

2026年1月1日～

## 【観光スポット】（イタリア・トレヴィの泉）



### 【経緯】

トレヴィの泉には、1日平均約3万人の観光客が訪れており、**過密状態が問題化。混雑緩和を目的**に、観光客から入場料を徴収。

### 【料金の変化】

（従前）

無料

（改定後）

ローマ市民…無料（据置き）

ローマ市民以外…2ユーロ（**引上げ**）

### 【使途】

文化遺産の保全や維持

### 【導入時期】

2026年2月2日～

# 国内における料金設定見直しの動き

施設公式サイト等をもとに、観光庁作成

## 【市民/それ以外で分ける例】（兵庫県姫路城）



### 【経緯】

姫路城では、**物価・人件費の高騰の影響**により、維持管理運営費が増大。保存継承につながる**保存修理費・整備費等を確保**するため**市民以外の入城料**を引上げ。

### 【料金の変化】

（従前）

- 大人（18歳以上）…1,000円
- 小人（小学生・中学生・高校生）…300円

（改定後）

- 18歳以上（市民）…1,000円（据置き）
- 18歳以上（市民以外）…2,500円（引上げ）
- 18歳未満 …無料

### 【使途】

姫路城の維持管理運営費、保存修理費、歴史文化的空間の醸成を図るための復元、インバウンド・DX対応

### 【導入時期】

2026年3月1日～

## 【駐車料金引上げ】（白川郷駐車場）



白川郷観光協会HPより

### 【経緯】

白川村では、観光客増加や物価・人件費の高騰により維持管理費が増大。駐車場の**維持管理費用を確保**し、**渋滞や混雑対策の強化**を図るべく、村営駐車場の**料金を引上げ**。

### 【料金の変化】

（従前）

- 二輪自動車…1回200円
- 普通自動車、軽自動車…1回1,000円
- 大型自動車（バス等）…1回3,000円

（改定後）

- 二輪自動車…1回500円
- 普通自動車、軽自動車…1回2,000円
- 大型自動車（バス等）…1回10,000円

### 【使途】

駐車場の管理や大規模修繕

### 【導入時期】

2025年10月1日～

## 【時間帯別運賃】（銀山温泉シャトルバス）



銀山温泉公式サイトより

### 【経緯】

銀山温泉では、**夕方以降が最も混雑し、昼前後の来訪客が少ない**という傾向があった。このため、観光客の**分散化と混雑緩和**を図るべく、**時間帯別運賃**（乗車時間帯により運賃額が異なる制度）を導入。

### 【料金の変化 ※大正ろまん館⇄銀山温泉】

（従前）

全時間帯500円

（改定後）

- 午前9時～午前11時…800円（引上げ）
- 午前11時～午後2時…500円（据置き）
- 午後2時～午後6時…1,000円（引上げ）

### 【導入時期】

2025年12月20日～2026年3月1日  
（実証実験）